

◆◇第1回 音楽分析講座 ◆◇

BUNCADEMY では、2014年11月よりシリーズとして「音楽分析講座」を行います。この講座では各分野の専門家をお呼びし、楽譜や資料などから作品を分析的にアプローチすることにより、その作曲家のスタイルや音楽的思想を明らかにしていく試みです。まずは第一弾として音楽批評家、制作者の石塚潤一氏を迎え、松平頼暁、松平頼則、湯浅譲二の三氏についてそれぞれじっくりと語って頂きます。この度、第2回までのスケジュールが以下のように決定致しました。

「誤用・分節・カタストロフィー：松平頼暁の総譜を学ぶ」

～ピッチ・インターヴァル技法導入以前と以後～

【日 時】 第1回 2014年11月15日（土）14:00～16:00（先着20名）

第2回 2014年12月6日（土）14:00～16:00（先着20名）

【会 場】 BUNCADEMY

〒152-0004 東京都目黒区鷹番3-1-3 リエール鷹番303号

【入場料】 2,000円（学生1,500円）

2回通し券（3,500円、学生券は通し券なし）

☛ 予約／お問い合わせ: info@buncademy.co.jp

⇒ ご予約の際には、お名前（代表名）・人数・緊急連絡先をご記入ください。

◆ 講師：石塚 潤一（いしづか じゅんいち）

評論：「松平頼則が残したもの」で、2002年度柴田南雄音楽評論賞奨励賞。以後、音楽批評家、制作者。読売新聞、音楽現代、洪水、ユリイカ別冊、ミュージック・マガジンなどに、音楽批評、時評、書評などを執筆。演奏会制作者として、2008年と09年「101年目からの松平頼則」を単身企画、制作。11年「松平頼暁 80歳の肖像」、12年「篠原眞電子音楽演奏会」、13年「平山美智子 90歳の軌跡」を共同制作。東京都立大学理学研究科修士課程修了（物性物理：理論）。代表的な書き物として、以下の三点を挙げる。

- 「標柱 シリンガーとバークリーの理論を巡って」（菊地成孔・大谷能生『憂鬱と官能を教えた学校』河出書房新社、所収）
- 「豊饒なる音響の海へと船出せよ」（川崎弘二編著『日本の電子音楽 増補改訂版』愛育社、所収）
- 「誤用・分節・カタストロフィー 松平頼暁の管弦楽曲を概観する」（『洪水』第13号 洪水企画、所収）